



由良小学校

夏本番!!
熱中症にご注意を。



衣奈小学校



白崎小学校

由良町
 こんにちは! 議会です

発行/由良町議会 発行責任者/議長 上野 諭
 編集/議会広報編集委員会
 〒649-1111 和歌山県日高郡由良町里1220-1
 TEL.0738(65)1100 FAX.0738(65)0226

2013.8.1

NO. 99

平成25年 6月定例会 6月11日～17日開会

『防災・医療対策』を軸に

平成25年度一般会計補正予算 歳入歳出それぞれ1億7440万円

平成25年6月定例会は6月11日から17日までの7日間の会期で開きました。今回の定例会では、繰越明許費繰越計算書の報告4件、由良町職員の給与の臨時特例に関する条例、由良町副町長の選任など人事案件4件と一般会計補正予算について、報告4件、議案6件について、審議の結果すべて可決・承認しました。また、一般質問は4名の議員が登壇しました。

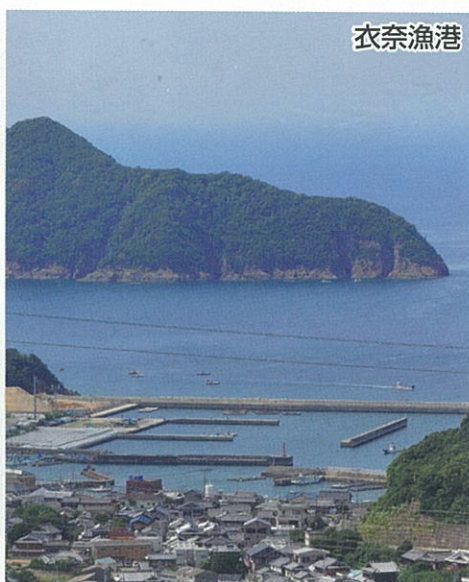
報告4件 議案6件

- 繰越明許費繰越計算書（一般会計）について
- 繰越明許費繰越計算書（公共下水道事業特別会計予算）について
- 繰越明許費繰越計算書（漁業集落環境整備事業特別会計）について
- 建設改良費繰越計算書（水道事業会計予算）について
- 由良町職員の給与の臨時特例に関する条例
- 由良町副町長の選任について
- 由良町固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 人権擁護委員候補者の推薦について
- 人権擁護委員候補者の推薦について
- 平成25年度由良町一般会計補正予算

用語説明

繰越明許費とは？

年度内に、予算の支出を終える事ができないと見込まれる場合、議会の議決を経て、翌年度に繰り越して使用することができる経費です。



漁港耐震耐津波機能診断に 1億2000万円

問 防災関連で漁港耐震・耐津波機能診断業務委託料1億2000万円が計上されているが、内容について説明を。

答 (参考) この予算については、衣奈大引、戸津井漁港の耐震耐津波機能診断を実施することにより、今後の漁港防災関連事業を実施するための基礎資料とするものです。

風しんワクチンの予防接種に 500万円

問 風しんワクチン接種対象者は、また、自己負担は？

答 (住民福祉課長) 対象者は、19歳以上、50歳未満の女性の方で、妊娠を希望している方と、妊娠をされている方の配偶者です。また、補助等については、県と町が2分の1ずつを負担し、自己負担はありません。

0.1%給料を下げる考え方は？ 特例的に減額する



問 職員の給料を人事院勧告ではなく、政府からの要請でラスパイルス指数だけで0.1%下げるのは、どういふことか。

答 (町長) 平成25年1月の総務大臣からの要請に基づき国家公務員の給与減額支給措置を踏まえて、必要な措置をするものです。7月1日から来年の3月31日まで、9カ月間の減額措置をとるもので、給料月額から300円を減じます。

用語説明

ラスパイルス指数とは？

国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準を示した指数。

消防救急無線をデジタル化へ 本年度は、2640万円

問 消防費、消防施設費について詳しく説明をお願いします。

答 (総務政策課長) 現在、全国の消防本部で使用している消防救急無線は、平成28年5月31日までにアナログ波からデジタル波に移行しなければならなくなりました。そこで、平成26年度から整備に入る予定でしたが、県下17消防本部などで立ち上げている「整備推進協議会」において工期を前倒して、平成25年度から整備にかかることになりました。3年間で約1億円の負担金を要します。



人事



○由良町副町長の選任について
引き続き、選任に同意しました。
岡 真治氏 (門前337番地)



(就任あいさつ)
引き続き、議員、職員、町民の皆さんのご協力を得ながら、畑中町長を全力で補佐し、社会基盤の整備などに取り組んでいきます。色々な団体が頑張っていたと思いますが、もっと女性の力を貸していただきたいと思っています。また、町政の発展に力を入れ、観光など由良町へ来て頂けるように、外に向かって発信し活性化につなげたい。

○由良町固定資産評価審査委員会委員に欠員が生じたため
竹野 寿氏 (門前160番地)の選任に同意しました。

○人権擁護委員、任期満了に伴い
元田 米一氏

相原 利江子氏 (衣奈574番地の4)

両名の候補者の推薦に同意しました。(吹井919番地の20)

一般質問

議員が町行政の問題などを問いただす「一般質問」は4名の議員が質問に立ち、町当局の考えを質しました。以下その内容を要約してお知らせします。(文面はすべて質問者本人の原稿によるものです。)

少子高齢化が進む中で過疎対策

人材育成に積極的に取り組む



藤田 富三 議員

問 (参考) 当町の基幹産業である農業漁業は、高齢化や後継者不足など大変厳しい状況です。農業については、ほとんどの農家が柑橘栽培を基幹とし施設園芸水稲との複合経営です。漁業については、一本釣、定置網、引網、刺網、採貝採藻など沿岸漁業を中心に営まれています。

答 (参考) 由良産品のブランド化については、すでに商品として由良早生、さつき八朔など、柑橘類は市場に出ています。海産物についても、積極的にブランド化に取り組んでおり、昨年10月、東京において由良町海産物ブランド化推進モニター会を開催しました。また、当町において、本年5月1日付けで町活性化プロジェクトチームを立ち上げ、調査検討しているところです。

問 耕作放棄地の活用について、答弁します。現在、由良町の農地面積は、366ha、耕作放棄地は71haです。本年度から、耕作放棄地について農業委員会と連携し追跡調査を実施します。調査結果を元に、地域の担い手への農地利用集積に役立てたいと考えています。

答 (参考) 最後に、人材育成事業について答弁します。農業漁業ともに、人材育成が必要不可欠と考えています。独自産業化をも視野に入れ、地域のリーダーとなる人材、あるいは町産品の付加価値を高める人材育成をしていきたい。

町民が、安全で安心して暮らせる環境づくり

必要最小限の防護対策を講じます。

問 (参考) 大型台風津波による防災減災対策事業を国に実施していただきます。

答 (参考) 事業の概要は、大規模地震津波に備えた防災減災対策が求められています。外郭施設や係留施設などの漁港施設については、必要最小限の機能強化防護対策を講じ、安全な漁港漁村づくりとして、拠点漁港の主要施策のための耐震、耐津波機能診断を実施します。

今後の漁港防災関連事業を実施するための基礎資料とするものです。



安全で住みよい防災対策を

さらに整備を進めます



吉田ひとみ 議員

問 3月議会でもお願い致しました青鷲の件と南海トラフ大地震や交通安全面等、これからの予定や計画があれば教えてください。

答 (参考) 6月12日、1回目の青鷲除を猟友会の方々に協力を頂きましたが、引き続き様子を見ていきたいと思います。

問 (町長) 交通安全対策の中で国道42号線の歩道改良、里区内のJR紀伊由良駅前周辺の歩道、中区のNPO法人由良わくわく塾前、畑区の統合保育所前の3カ所を国に対して要望しています。

答 (総務政策課長) 地域防災計画及び津波避難計画の見直しなど、和歌山防災パワープアップ補助金を活用した各種事業などを計画しています。

問 昨年度に引き続き、横浜・網代区での避難路の整備、また新たに里・大引区でも樹木の伐採、階段及び手すりの設置などを整備していく計画です。蓄電式のLED避難誘導灯や海抜表示板、避難場所案内板の設置も予定しています。また、小引・畑区内の備蓄倉庫を併設した消防車庫も整備を進めているところです。

問 (町長) 町においても、災害用の非常食の備蓄や自主防災会への資機材の貸与も、引き続き実施していきたい。

答 (参考) 道路交通安全対策事業について、まず、県道御坊湯浅線の江ノ駒区、吹井区間に至る480mの道路については、すでに県が発注済みであり、10月末には完了する予定です。白崎郵便局前については、本年度から用地買収をします。そして、白崎海洋公園、小引区に至る区間は、本年度引き続き道路改良工事を実施していくと聞いています。また、県道御坊湯浅線について、里区内の歩道改良工事は舗装も含め本年度において事業が完了すると聞いており、近々入札予定との事です。

問 (町長) 江ノ駒区内の町道①-3号線(斎場付近)の農免道路の道路改良工事についてですが、平成23年度から開始し、本年度も引き続き実施します。



紀伊由良駅前の国道の整備を

現地を確認し、必要であれば要望します



川出 純 議員

問 JR紀伊由良駅前の町営駐輪場の放置自転車対策や駐輪場全体の整備をしていただきたらいい。

答 (参考) また、駅前の国道42号線の信号付近が、いちはん「轍」が多いので対策されたい。

問 (町長) 放置自転車の撤去については、不定期ですが、警察と連携しながら実施しています。

答 (参考) 国道42号線の「轍」については、現地を確認し、交通事故の原因となるようであれば、国土交通省に要望します。

おかしいぞ風力発電計画

阿戸区の見解を聞いて対応

問 昨年9月に由良町と日高町で説明会を実施し、由良町では、阿戸区、里区に計画があり、日高町では、池田区に計画されておりましたが、10月に、いったん休止と計画予定地区に連絡がありました。

答 (参考) 本年4月に再び、池田区において風力発電所の説明会があり、池田区に2基、阿戸区に2基の計画となっています。

問 由良町では、風力発電による騒音・低周波等の問題も一部では出ており、この計画には、反対すべきではないのか？

答 (総務政策課長) 町として、反対すべきという事ですが、法に則った企業活動の範囲の中で異議を唱えるという事は出来ないと考えております。

問 (町長) 日高大平山風力発電所については、現在、事業者と池田区の間で協議されていると聞いています。

答 (参考) 町といたしましては、今後、関係する阿戸区の方々の意見を聞きながら対応したいと考えております。

◎(他の質問) ◎町内道路の改修 ◎鳥獣害対策での緩衝地帯の現状と課題は。

風力発電の被害

科学的な根拠は確認されていません



由良 守生 議員

問 風力発電の建設・稼働による健康被害、経済被害について問題を質します。

答 (参考) ①土地の評価の下落 別荘地、リゾート用地に致命的なダメージを与え、自然豊かな風景に巨大風車の稼働はミスマッチです。一般住民にとっても、騒音や低周波音被害のある地域は、資産の下落を感じています。

問 風力発電には、たくさんの方の被害報告があります。特殊な感性、感覚ではなく、特別な人だけが低周波音被害に遭うのではない。個人差があっても当たり前です。目まいのする人、頭痛のする人、首の痛い人、いろいろな症状があつて苦しんでいます。

答 (参考) 地域社会として、取り返しのつかない疲弊に陥っています。

問 (町長) ③県行政に対して、町民の健康調査を要請すべきです。

答 (参考) 事業者の側に立ったものではなく、住民の健康に軸足を置いた、住民のための、医師による被害調査が必要とします。

問 (総務政策課長) ①土地評価については、山頂に設置された風車が地価評価に影響を及ぼすことはありません。農地・山林の固定資産税評価額についても据え置かれています。

答 (参考) ②低周波音の被害については、風車の低周波音が健康に影響を及ぼすという科学的根拠は確認されていません。体調不良を訴える住民がいるのであれば、保健師、保健所と連携して対応していきたいと考えています。

問 (町長) 現在、低周波音に係る環境基準を早期に設定するよう県から国に要請しているところです。



総務文教常任委員会視察

【衣奈小学校】



【由良小学校】



町内小中学校訪問

【白崎小学校】



【由良中学校】



産建厚生常任委員会視察



町単工事視察



【江ノ駒区】

水路改修



企業訪問

「6月は、環境月間です。企業の対策は不全会です。」



【ポリテック】



【駒井ハルテック】



【MES由良】

地域活性化調査 特別委員会

「東京・大田市場」と「きのくに紀州館」を行政視察

由良町議会地域活性化調査特別委員会は、5月14、15日の2日間、東京都内で和歌山県特産物を販売するアンテナショップ「きのくに紀州館」をはじめ、当町のミカンを取り扱っていた「林フルーツ店」や「大田市場」並びに、由良のアジ・サバ・タイなどを使って料理を出している麻布十番の「和処きてら」などを訪問し、市場の動向を調査しました。

初日に有楽町の東京交通会館内「きのくに紀州館」に伺いました。平成16年2月の開設で、首都圏における観光誘客業務並びに店舗運営、管理監督、首都圏物産関係情報収集などを、県観光連盟に委託し運営を行っていました。

店舗業務については、県内の特産品を販売、平成24年度実績では年間取扱品目765点、年間購買者数が約7万7000人、年間販売金額が約7700万円、前年度比4%増であるとのことでした。

ミカンをはじめとする柑橘類の市場の動向、並びにアンテナショップでの販売状況の説明を受け、販売高は少ないが、水産加工の干物が都会の方にとっては人気商品であるとの興味深い話を伺いました。

2日目に大田市場の東京荏原青果(株)を訪問し、果実部門担当者から市場の動向について説明を受けました。果実類の大田市場における取り扱い実績で、和歌山県は愛媛県・米国・熊本県に次いで4番目となっています。

ミカン等の出荷については、市場関係者の方から、もっと出荷量を増やして欲しいという要望がありました。

この点を取り上げても、色々な原因があると考えますが、まず後継者育成を真剣に取り組んでいく必要性があるとの認識を深めました。

今後、当町としても生産性を上げるためには、個々も大事ですが、行政や法人を巻き込んで担い手を育てる組織体制を考えていきたいと強く感じました。



シリーズ 防災メモ①

「簡易トイレの作り方」

「いざ!!」という時のために活用できる

情報をお伝えできればと新コーナーを開設!!
新聞紙とレジ袋で簡易トイレが出来るのはご存知ですか?

おばあちゃん、いつもテーブルの上に置いてあるみかんの皮入れなどに使っているチラシで作ったゴミ袋の大判です。

尿取りパットがあれば、使い易く、より便利です。

平日頃から、非常袋に入れておくと大いに役立ちます。



編集後記

今年はずっと雨が降った。と一般には言われている。しかし、6月の降雨量を見ると、例年並であった。実際は、晴れの日が多くて仕事はかどったのかもしれない。あまり仕事をしすぎて疲れてしまっているかもしれません。なにことも、ほどほどに。景気回復を願う今日この頃

です。
バランスのとれた食事や生活、暑い夏です。
健康に十分気をつけて。
(由)

- 議会広報編集委員会
- 委員長 吉田ひとみ
 - 副委員長 由良 守生
 - 山名 実
 - 中村 森
 - 玉置 一郎
 - 川出 純